

令和4年度岡崎市市民公益活動事業費補助金 申請事業一覧

型	No.	団体名	代表者	事業名	団体の活動目的	事業概要	申請理由	交付金額(円)
自立支援型	1	「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会	阿部 太郎	岩津城跡整備と維持	独立の立場で「岩津松平氏輝きの600年」について研究評価広報を行い岩津のあるべき姿について問題を提起する。	1 岩津城跡整備と維持に係る事業 2 岩津城跡整備ボランティア隊の構築 3 岩津城跡を起点、終点とする歴史自然散策 4 地域の地理歴史についての調査研究活動	岩津城跡整備作業(枯竹、枯木の伐採)を役員活動とボランティア活動で行う為、ノコギリ・ロープの補充と伐採用チェーンソーの替刃とエンジンオイル、ガソリンの補充を行う為。	50,000
	2	岡崎百景の会	成瀬 晋	ふるさと景観啓発事業	岡崎市制100周年記念事業として「次世代に伝えたい『岡崎の今』を表す景観」を市民の手で選定した岡崎百景を通して、ふるさと景観の魅力を広く市民に伝え、地域への誇りと愛着を醸成することを目的とする。	岡崎百景は、2016(H28)に岡崎市制100周年記念事業として、次世代に伝えたい「岡崎の今」を表す景観を市民の手で選定した事業である。 本事業では「岡崎百景」を巡るツアーを3回開催し、ふるさと景観の魅力を広く市民に伝え、地域への誇りと愛着を醸成する。	・専門性を持った講師を招き、外部からの景観評価、景観工学的特徴などを解説することでツアー内容を充実させ、参加者の満足度向上を図る ・ツアー参加者募集や実績の周知のための広報を充実させ、参加者の拡大を図る	50,000
	3	特定非営利活動法人コネクスポット	山下 祐司	多様な中高生へのキャリア支援事業	地域から孤立してひきこもりの状態にある子ども、若者、障害者、高齢者、その他市民の方々に対して、訪問支援・通所支援・宿泊支援等に関する事業を行い、ひきこもりや社会全体の生きづらさに係る問題の改善や解決を図り、地域に暮らす1人1人の生活の質の向上と地域福祉の増進に寄与することを目的とする。	1 なぜするのか？ ①多様な中高生を取り巻く環境 不登校や複雑な家庭環境に置かれている生徒は学校生活や進路に悩んでいる方が多い。スクールカウンセラーや教育委員会や若者相談など紹介があっても抵抗感があつてなかなか繋がりにくいのが現状である。進路の選択もどこに行ってもいいか良いか分からずに、そのまま進学できなかつたり、入学した高校でも適応できずに中退してしまつたりした結果、ひきこもりになってしまう傾向がある。 ②地域の現状 例えば不登校の生徒のキャリアを考える場合には学校の先生が相談に乗っているが、必要に応じて医療機関や行政との連携や家族へのケアなど様々な対応が求められ、教育関係者だけでは対応できない状況になってきている。また不登校の生徒の場合、内申点はオール1になり、出席日数もないため推薦も得られないことから先生としてもどこの学校を紹介すればいいか、進路指導の際にどのように関わっていけばいいかわからずに悩んでいる現状がある。 2何をするのか？ ①定時制・通信制高校の個別説明会の開催 岡崎市内の定時制・通信制高校(8校程度)を広い会場に集めて個別ブースをつくり、来場した生徒や家族が各校の先生へ受験や入学後の相談をできる機会をつくる。開催日時は進路選択の節目となる夏と秋を予定している。 ②中学校・高校への巡回相談 進路指導に悩む生徒がいた場合には学校の先生と連携して進路相談に応じる。必要な職業適正評価などを行う。	当法人は福祉サービスの指定を受け、主にその収益を財源に運営をしている。 一方で福祉制度の枠組みに当てはまらない狭間に陥つて方(例えば、病院に未受診の不登校の生徒、母子家庭で愛情が不足して情緒不安定な生徒、外国籍で勉強についていけない生徒など)については相談料(1時間5000円)をいただいて相談に応じているが、費用を支払えない関係で相談に応じれず、岡崎市のふくし相談課の窓口へ繋ぐなど公民連携をしながら関わっている。 今回、本補助金を活用することで狭間に陥つて方へ費用負担のない形で貢献できたらと考えて申請を希望した。	50,000
	4	おいでんネットワーク	三輪 晴美	おいでん家(や)	すべての子どもが幸せになることを目的とする。また、大人たちにとってもこの会が生き生きと或いはゆったりと過ごせる居場所となることを目的とする。	毎月第2と第4の火曜の夕方(22年度12月は第1と第3、1月は第3と第5となる)広い庭のある空家をお借りして、子ども食堂を開催している。食事の提供だけでなく、学習支援、遊んだり読書など自由に過ごせる子どもの居場所、それを見守る大人の居場所にもなっている。コロナ以前は40~50人の子ども参加、コロナ禍で30名ほど、ボランティアスタッフは12名ほど毎回参加。午前中の2時間で仕込み準備そうじ、午後は3時から調理、4時から7時までの開催時間。21年度は支援の必要な家庭の中3受験生の学習支援も行う。近隣から食材支援も多く、老健の高齢者やみあい特別支援学校の生徒さんとの交流もある。	活動の拠点となっている空家の賃借料の一部として役立てて、事業の安定的継続を図りたいと考えているため。	50,000
	5	岡崎ボードゲーム会	井伊 通	ボードゲーム会開催	ボードゲームを通じて、年齢、性別、文化などを越えたコミュニティの形成と交流を創出する。ボードゲームを遊ぶことによって脳を活性化させ、思考力、分析力、協調力、集中力等を高め、子供の発育や高齢者の認知症予防に役立てる。	ボードゲーム会の開催にあたり、チラシ等を作成し活動内容を広く告知、新たな会員や参加者を獲得したい。また、幅広い年齢の参加者の満足度を高め、交流を深めるために、新規にボードゲームを購入し、拡充したい。	新たな会員、参加者を増やすことによって活動の継続、安定化を図りたい。 ボードゲームの種類を充実。 参加者の満足度を高める。	50,000

令和4年度岡崎市市民公益活動事業費補助金 申請事業一覧

型	No.	団体名	代表者	事業名	団体の活動目的	事業概要	申請理由	交付金額(円)
事業支援型	6	岡崎星と遊ぶ会	神納 光	星空観望会	本会は広く一般の人に星空に親しんでもらうことにより宇宙の広大さ、自然の美しさ、不思議さ、さらに地球環境の大切さ等に興味を持ち、考えるきっかけを提供すること、また癒しや広い心を育む事を目的とする。	(1)広く一般市民を対象とした星空観望会を実施する。 (2)各地で行われる各種イベントに参加し星空観望会を実施する。 (3)紙芝居風の星空案内で、誰にでもわかりやすく星空の解説を行う。	望遠鏡に取り付けたカメラのライブ映像や説明用のスライドなどをモニターに投影し天候に影響されことなく参加者に楽しんで観望してもらうため、望遠鏡・カメラ・パソコン・モニター等使用料と会場・電源使用料および消耗品・告知チラシ等印刷代に役立てる。	45,000
	7	自然観察の里を守る会	松崎 良一	里山保全事業	本会は里地里山の保全活動と保全した里山を活用した子ども達を対象とした自然体験教室を開催し里山の大切さを伝え、守っていくことを目的としている。	里山の整備地約2haの里山再生、保全活動として毎週土曜日に会員が集まり、草刈り、泥上げ、水まわし、散策路補修作業を実施。また、一般市民や企業、若者サークルなどのボランティアを受け入れ、保全活動体験を通じた自然学習の場を設けている。	・整備地の保全活動のために必要な消耗品の購入 (草刈機の替刃、ノコギリの替刃、胴長購入、軍手購入、混合油購入、備中購入等) ・草刈機や備中の修理費に補助金を活用	30,000
	8	全日本竹水鉄砲合戦実行委員会	上田 達也	竹水鉄砲合戦を用いた竹の有効活用事業	本会は、古来より生活や遊びの中の様々な所で活用されてきた竹について、竹林管理が行き届かないことによる荒廃が里山全体に大きな影響をもたらしていることに対して、竹の有効利用に関する事業を行い、竹林の荒廃や竹の有効利用に係る問題の改善や解決を図り、竹水鉄砲合戦なるスポーツを推進することによる活力の向上と資源の有効活用の増進に寄与すること、併せて竹水鉄砲合戦を通じて環境、教育の活動及び農山漁村又は、中山間地域の振興による世の中の発展を図ることを目的とする。	・中央総合公園において「岡崎をスポーツで盛り上げる会」と協力をして第1回岡崎市子ども食堂対抗竹水鉄砲合戦大会を開催する。 ・岡崎市立形埜小学校において第1回PTA親子対抗竹水鉄砲合戦大会を開催する。 ・岡崎市立形埜小学校において第1回事業所対抗竹水鉄砲合戦大会の開催をする。 ・岡崎市立形埜小学校において岡崎市教職員竹水鉄砲合戦教室を開催する。 ・岡崎市内の竹林を整備して、伐採した竹を竹炭にして農地の土壌改良材に使用する。 ・岡崎市内の竹林を整備して、伐採した竹を竹炭にした後に竹粉末パウダーにて竹炭石鹸等に活用する。	竹を使わない時代になっているが、竹にちゃんとした付加価値を持たせて資源として活用できる仕組みを「竹水鉄砲合戦」を通じて作りたいと考える。竹は大切な資源である。大会や教室を開催するには材料費や音響等の設営は必要不可欠であり運営には欠かせないものである。よって補助金を有効活用して事業の推進に努めたいと考えるものである。	200,000
	9	三土市倶楽部	野村 健治	音楽のつどいinシビコ西広場	岡崎市が進める中心市街地活性化施策「くるわ戦略」上にある康生・シビコ西広場。木立のある公共空間を活用し、ステージパフォーマンス、地域産品などの販売を展開する、現代版「楽市楽座」。世代を超えるゆるやかな交流の場を設け、都心のオアシスとして高齢者、障がい者、外国人を含めた広い世代による新たな賑わいを創出し、地域社会のコミュニティ向上を図ることによって、まちづくりを推進することを目的とする。	・「くるわ戦略」上の一拠点である康生・シビコ西広場において、仮設ステージでのパフォーマンス、フリーマーケット開催による集客を行い、中心市街地の活性化を図る。 ・一般市民、子どもから高齢者、障がい者、外国人の方々へコミュニティの場を提供し、幅広い交流を促進する。 ・地域産品、市内福祉事業所などの紹介、販売機会を設ける。 ・令和3年度事業でつながりを持った近隣の7町・広域連合会、未来城下町連合との連携をより強化し、中心市街地の魅力向上によるまちなか回遊を促進する。	・令和3年度の補助金で形ができた三土市を今後もより発展継続して開催し、さらなる認知度向上を図るため。 ・ステージに必要な音響機材、会場の雰囲気づくりのための装飾等。 ・地域の子どもたちを含めた市民との交流を深め、近隣団体との連携による回遊促進を促すためのチラシ制作。 ・季節にちなんだ催事を開催するための備品等の購入。	73,000
	10	fun fun fun	原田 あゆみ	子育て支援事業	・妊娠中、育児中のママたちの精神的、肉体的に不安定なママさん方に心と体のアドバイスを行う目的。 ・内面的なお子様や運動が苦手なお子様にダンスを通して人とのコミュニケーションや自分に自信を持ち積極的になれるお子様を導くのが目的	各週1回開催 地域交流センター(西部・東部・南部・北部)、図書館交流プラザ ママ向けのヨガや産後太りの解消のシェイプアップ 時にはパパも参加して頂き親子で楽しんで頂ける場を提供交流の場を広げる。 各週5回開催 地域交流センター(西部・南部・東部) 1・2歳対象の親子の地名、親子の絆を深める講座内容 内面的なお子様や、運動が苦手なお子様にダンスを通してストレッチや体幹を鍛え、身体を動かし、コミュニケーション力を付けていく。	ママのための交流会や講座を定期的で開催するにあたり、外部講師や託児スタッフを招くための謝礼 講座やイベント告知をするためのチラシの印刷費や会場費に役立てるため。	200,000